

第1回PETS 開催にあたって

次期地区研修リーダー 寺嶋 哲生

何故ロータリーを創ったのか？

私はただ寂しかったのです。
寂しさを紛らわすために、寂しさから抜け出すためにロータリーを創ったのです。
高邁な原理原則に基づいて何かをすることか、そういう事は全く思っていませんでした。
寂しさを共有する人が集まったシカゴ・クラブの最初の目的は親睦以外にはありません。

(1935年来日時のポールハリスの言葉)

初めて明文化された
「ロータリーの綱領」
(1906年)

- ①本クラブ会員の事業上の利益の増大（**互恵取引**）
- ②社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進（**親睦**）

三つ目の綱領

(1907年)

③シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広めること（社会奉仕）

(社会奉仕の父ドナルド・カーターの提案)

ロータリー倫理訓（道德律）の採択
（1915年）

互惠取引を普遍化 ⇔ 職業倫理概念の確立

ロータリーの骨格

親睦
職業倫理
人道的奉仕

⇒ これらを通じての学び（リーダーシップの涵養）

ロータリーの為すべき事 (Object)

意義ある**事業**の基礎として**奉仕の理念**を
奨励し、これを育むこと

(国際ロータリー定款第4条「ロータリーの目的」)

「事業」とは何か？

事業 (Enterprise)

≡ 活動 (Activity)

≠ 事業経営 (Business)

(決議20R-02：2790地区千葉RC)

「奉仕の理念」とは

Rotary clubs everywhere have one basic ideal
The ideal of service which is thoughtfulness of and helpfulness to others.

ロータリークラブは、一つの基本的理念を持っている
その奉仕の理念とは、他を思いやり、他の助けになること
です

(初代事務総長チェスリー・ペリーの言葉)

我々ロータリアンの為すべき事 (Object)

日々のあらゆる活動において、
他を思いやり、
他の助けになること

誰を思いやり、誰の助けになるのか？

- クラブ奉仕：会員とその家族、ロータリーファミリー
- 職業奉仕（倫理）：顧客、取引先、社員、株主
- 社会奉仕：地域社会とその構成員
- 国際奉仕：国際社会とその構成員
- 青少年奉仕：青少年・青少年団体とその構成員

どう行動すべきか？

社会奉仕に関する1923年の声明 (決議23-34)

* 「社会奉仕」概念が細分化される以前 *

決議23-34の (4)

いずれのロータリークラブも、毎年度、何か一つの主だった社会奉仕活動を、それなるべく毎年度異なる活動を後援する事が望ましい (抜粋)

⇒ 単年度主義

決議23-34の (6) の (f)

ロータリーは、事業を始めたり、始動したりするが、一方、当然それに関心を持っていると考えられる他の全ての団体の協力を得るように努力すべきであり、そして、当然ロータリークラブに帰すべき功績であっても、それに対する自分の方の力を最小限度に評価して、その全てを協力者の手柄にするようにしなければならない (抜粋)

⇒陰徳の美

決議23-34の (6) の (g)

クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広く全てのロータリアンの個々の力を動員するものの方がロータリーの精神により適っていると言える。それは、ロータリークラブでの社会奉仕活動は、ロータリークラブの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみこれを見るべきであるからである

⇒I serve

ロータリーの危機と変革

先進国（日本を含む）における会員減少
⇔ ロータリーの存在意義の低下

単年度主義 ⇔ 継続性（戦略計画）

陰徳の美 ⇔ 陽徳（公共イメージ向上・ブランディング）

I serve ⇔ Take action（人道的奉仕の重点化と増加）

戦略計画（2010-13年）

使命（Mission）：私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する

本質（Core Essence）：地域の人々の生活を改善したいという情熱を、社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク

3つの優先項目

- ・クラブのサポートと強化
- ・人道的奉仕の重点化と増加
- ・公共イメージと認知度の向上

戦略計画（2020-24年）

4つの戦略的優先事項

- ・ より大きなインパクトを与える
- ・ 参加者の基盤を広げる
- ・ 参加者の積極的な関りを促す
- ・ 適応力を高める

不易と流行

変えてはいけないもの：目的

(定款・第一標語・第二標語・4つのテスト)

変えなくてはいけないもの：方法

(柔軟性)

培うべきもの：信用

そのエンブレムを誰もが認識し、
誰もが信用するブランド

(Exレッドクロス・スリーポインテッドスター)

果たして、ロータリーのエンブレムは
如何に？

情けは人の為ならず

(One Profits Most Who Serves Best)

目的を共有して互いに協力することで、会員同士の友情を育み
他に感謝される事により、私達の心が充足し
ロータリアンとロータリーに対する社会からの信用を築き
培われた信用は、私達の精神的・経済的プロフィットとなる

貴方を思いやり貴方の助けになる仲間を、
クラブに、グループに、地区に、
世界に作るため

ロータリーを楽しみましょう！